

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 石峯 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

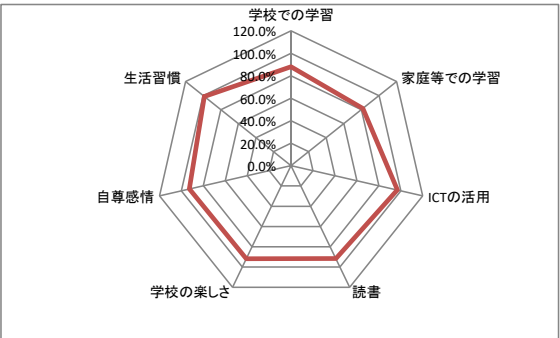
(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「書写」の領域である行書についての問題では正答率が高く、全国平均を上回った。「読むこと」に関する問題が全国平均を大きく下回っており、記述式でも全国平均を下回る傾向がみられた。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	「行書の特徴を理解する」、「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する」問題	下回っている
	努力が必要な問題	「論理の展開などに注意して聞く」、「表現の技法について理解する」、「場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する」問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	「関数」「図形」「データの活用」の領域では正答率が高く、全国平均を上回った。しかし、事柄が成り立つ理由や解釈の説明等、記述式の問題の正答率は全国平均を下回っていた。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	「反例の意味を理解している」、「箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる」問題	上回っている
	努力が必要な問題	「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」問題	
理科	全体的な傾向や特徴など	すべての領域で正答率が高く、全国平均を上回った。特に「エネルギー」を柱とする領域では、全国平均を大きく上回っていた。記述式の問題でも全国平均を上回ったが、他の問題形式に比べると、差は大きくなかった。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	「過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかみる」問題	上回っている
	努力が必要な問題	「実験結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる」問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・「いじめは絶対にいけないこと」と認識している生徒の割合が全国平均より高い。 ・読書を1日2時間以上する生徒の割合が全国平均より高いが、全く読書をしない生徒も多い。 ・「携帯・スマホ電源10時OFF」の取組を行っているが、平日4時間以上もゲームや動画視聴に費やす生徒の割合が全国平均より高い。携帯・スマホの使い方について、家の人と約束がない生徒が3割を超えている。 ・平日、休日ともに家庭学習の時間が短い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、家庭学習→朝自習→放課後石峯タイムと類題を計画的に出題する。家庭学習の課題は、学習習慣の定着のために、時間をかけて取り組めるような内容に工夫する。また、授業では自分の考えや身に付けた知識・技能を「アウトプット」する場を意識して設定する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

学び方を身に付け、学習習慣の定着を図るために、「家庭学習チャレンジシート」を作成し、家庭学習の目標と継続して取り組む内容を設定させる。その後、定期的に自己の取組を振り返ったり、他者との情報交換の場を設けたりする。スマホ・ゲームの利用時間と、規則正しい生活や学力との関連についての情報を発信し、保護者の理解と協力を努める。